

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

| 学校経営中期取組目標 |
|---|
| <p>○学校教育目標を実現するために、活力と魅力にあふれた学校作りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着と思考力・表現力および対話力・実践力の向上を図り、ねらいが明確な分かりやすい授業を展開します。 ・よりよい人間関係作りに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育てるために、特別活動・道徳教育の充実を図ります。 ・道徳、児童会活動の充実を図り、児童自らがいじめのない学校づくりに取り組む態度を育てます。 ・学校便りやホームページを活用し、地域との連携を図り、地域の人材、施設を活用した学習や体験活動に取り組めます。 |

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|---|---|
| 豊かな心 | 自分のよさに気づいたり、人とのかかわりを通して相手を思いやる態度や、社会に役立つ行動を価値付けたりして、自他を大切にすることを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 今年度道徳授業力向上校として、評価の視点を明確にした「特別の教科 道徳」の授業改善を目指す。全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 ② 児童会活動やペア学年交流など異年齢活動をさらに充実させる。 ③ 読書活動や文化芸術体験を推進する。 |
| 担当 | 道徳部 | |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・道徳的な価値について、多くの児童は理解しているが、集団の中で適切な行動がとれない場面が見られる。
- ・学習状況調査の生活意識調査項目において、あいさつを自分からしている、人の気持ちを考えて行動している（どちらかといえはしている）児童は8割を超えているが、児童の意識と実態とでは、やや違いがある。人との関わりにおいて、互いに心地よさを感じられるような関係づくりが必要である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別業と連動

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年に1回以上公開する。
- ・「多面的・多角的な見方へと広げる」「道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める」ことを指導の視点とし、多様な方法を取り入れた指導の工夫を取り入れるようにする。
- ・「いじめ未然防止」につながる内容項目の中で、年間3回を全校、または学年一斉道徳として取り組む。
- ・「別業」を活用し、他の教育活動と道徳の時間との関連を図ったり、追加、修正したりする。

指針2 体験学習の充実

- ・「児童会活動」「クラブ活動」「委員会活動」「ペア学年交流」を通して、異年齢同士のつながりを築く。よりよい活動に向けて話し合ったり、相手の立場になって考え、活動したりしながら楽しさや喜び、自己有用感が得られるようにする。

指針3 豊かな感性や情操の育成

- ・「朝読書」の時間を週1回 15分間設定する。
- ・「朝読書」や「読書週間」では、読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク、委員会児童によるテレビ絵本などを実施する。
- ・優れた文化や芸術にふれる機会をもつため、芸術観賞会を年1回実施する。